

はじめに

「ChatGPTって、名前は聞いたことあるけど、医療現場でどう使えばいいのか、正直困っている…」

もしあなたがそう感じているなら、この本はまさにあなたのために書かれました。

2023年、ChatGPTの登場は、私たちの生活に大きな変化をもたらしました。AIが生成する文章やアイデアは、まるで優秀なアシスタントが隣にいるかのよう。しかし、医療現場でその可能性を最大限に引き出すには、ちょっとしたコツが必要です。

本書は、京都大学医学部を卒業後、臨床現場での実践を経て、AIを活用した医療サービス開発に携わってきた著者が、自身の経験と知識を詰め込んだ一冊です。医師の皆さんにとって、日々の診療で直面する課題を解決する強力な武器となるでしょう。

本書では、ChatGPTの基本的な使い方から、医療現場での実践的な活用方法まで、幅広く解説します。

「プロンプト」の基本：ChatGPTに的確な指示を出すためのコツを伝授します。

診療での活用：問診、患者説明、論文検索、医療文書作成など、具体的な場面での活用例を紹介します。

最新のAIツール：ChatGPTだけでなく、ClaudeやGeminiといった他の生成AIツール、NotebookLMなど、医療現場で役立つ最新のAIツールも紹介します。

業務効率化：待機表や勤務表の作成、抄読会の準備、スライド作成など、業務効率化に役立つ活用法を解説します。

分野を超えた発想：ChatGPTを使い、英語学習や悩み相談、動画の要約など、医療以外の分野での活用法も紹介します。

倫理的な配慮：個人情報の取り扱いや薬機法など、AIを使う上で注意すべき点も解説します。

本書は、単なるChatGPTの解説書ではありません。AIを「道具」として使いこなし、医療の質を向上させ、より創造的な医療者になるためのガイドブックです。

「自分+ AI ≥ AI」

この言葉が示すように、AIは決して私たちが脅かす存在ではありません。AIを使いこなすことで、私たちはより高度な医療を提供できるようになります。

さあ、あなたもこの本を手に取り、AIとの新しい医療の形と一緒に探求してみませんか？

この本が、皆様の医療現場でのAI活用の一助となることを願っています。

2024年12月

東日本橋内科クリニック／Ubic株式会社
白石達也